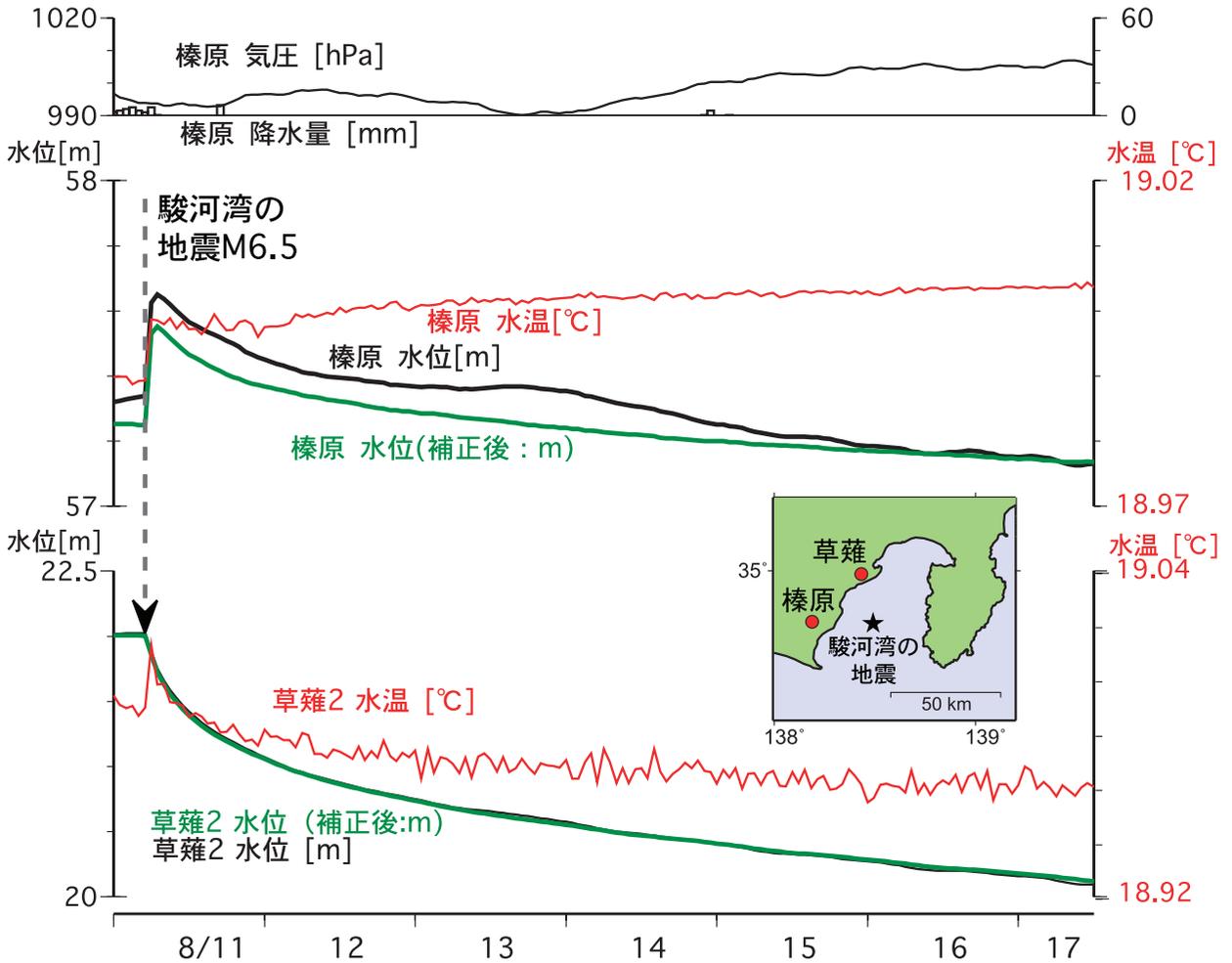


# 2009年8月11日に発生した駿河湾の地震(M6.5)後に観測された 草薙観測井と<sup>はいばら</sup>榛原観測井の地下水位・地下水温変化

<松本 則夫<sup>4)</sup>・小泉 尚嗣<sup>4)</sup>>

榛原・草薙観測井の地下水位・地下水温 (時間値)  
(2009/08/11 00:00 - 2009/08/17 12:00)



一番上の図はデータの補正に用いた気圧および降水量の榛原観測井(牧之原市)での例、下の2つの図はそれぞれ榛原観測井・草薙観測井(静岡市)での観測結果です。黒色線は観測された地下水位を示し、緑色線は気圧や地球潮汐などの影響を差し引いた「補正後の地下水位」を示しています。駿河湾の地震後に観測された地下水位変化は、榛原観測井で31.0cm上昇、草薙観測井では193cm低下(8/17 10:00現在)です。本特集号(小泉ほか)では想定東海地震の前兆すべりに基づく地下水位変化が例示されていますが、駿河湾の地震の後には、前兆すべりに結びつく地下水位変化はありませんでした。